

---

# 麻生リトル・ラグーメン

---



神奈川県川崎市  
麻生ラグビースクール

23年度一年間有難うございました!!

校長 三浦 幸宏

23年度のリトルラグーメンも最終号となりました。余震や東京電力福島第一原子力発電所の事故で練習を自粛するムードの中、4月10日よりスクールを開校させて頂きました。練習等への参加についての最終的な判断は保護者に委ね、麻生ラグビースクールとしては通常通りの活動を行い、外で練習が出来る環境に大きな喜びを感じた次第です。そんな中ではありましたが麻生ラグビースクールでの年間事業も予定通りに無事に開催する事が出来ました。又神奈川県ラグビーフットボール協会普及育成委員会ラグビースクール担当や神奈川県ラグビーフットボール協会の各行事も例年通り開催されました。振り返ると色々な事があった様な1年でしたが、大きな怪我も無く無事終了出来る事を報告させて頂きます。

小学部では、県大会で各学年が素晴らしい活躍をしてくれました。そんな中3年生 C が見事優勝し、来年に期待が持てそうです。しかし問題もありました。今年の6年生は10人と少なく塾組が4人いて合宿後全員が揃って練習が出来た日も少ない中で県大会に臨む事となりました。結果はともあれ、怪我人等を考えると15人以上の人数確保が今後の課題です。小学部は幼稚園を含め、学年によって人数のばらつきが多くやはり1学年で15～20人程度の子供達の登録を確保したいと考えます。

中学部は神奈川 DAGS として今年度より独立して1スクールとして活動を開始しました。県大会では3位と昨年に比べランクを上げました。現状の問題として私立中学での活動や部活との問題で活動出来ない子供たちが増え人数が減少しています。子供たち確保が今後の課題です。

小学部も中学部もまだまだ人数の増加が望まれますので幼稚園、小学校、中学校のお友達の勧誘にご協力をお願い致します。

中学部卒業と小学部修了される皆さんご苦労様でした。これから色々な面で活躍される事でしょう。これからの長い人生の君達には麻生ラグビースクールで学んだ、優しさ・礼儀・忍耐・助け合い等は必ず役に立ちます。厳しい練習に耐えることが出来た事、素晴らしい事です。『自信と誇りと勇気』を持ち麻生ラグビースクールの出身者として胸を張って下さい。何か悩みや壁にぶち当たったらコーチ達に相談しに来て下さい。コーチ達はいつでもグラウンドにいます。

23年度の事業も無事終了出来た事、皆様にお礼申し上げますと共に、来年度もチャレンジ精神を持ち『次代を背負う若者づくり』に邁進して行きますのでご理解ご協力を賜ります様お願い申し上げます。

## 平成23年度のまとめ

幹事長 加賀 司

3/4の田園RS20周年記念試合を行い、3/25の修了・卒業式を残して、全ての行事が終わります。麻生ラグビースクールの役員・コーチの方やご父母の皆さんの多大なご協力を頂き、無事に1年間を終えることができることに感謝いたします。どうもご苦労様でした。そしてありがとうございました。

今年度を振り返りますと4月以降に入校した生徒は23人と昨年の19人から増加です。

- ・幼児:内田ユウキの1人
- ・年少:河合リョウマの1人
- ・年中:牛山ソウジ、渡邊シュウヤ、児玉エイト君、坂脇ユウちゃん、中村カズキ君の5人
- ・1年:芝田ユウキ、高橋リョウセイ、佐藤ユウタロウ、石野ソウタロウ、畑佐ケンタロウ  
奥川コウセイ、賽方ハヤト君の7人
- ・2年:小高タスク、無田カイ君、坂脇ユウちゃんの3人
- ・3年:飯島リョウタ、奥川アサヒ、芝田リョウマ君の3人
- ・4年:田中コウキ、山崎タイガ、山家ショウタロウ君の3人
- ・5年:なし
- ・6年:なし

・中学1年:梅津、田口、野川、西野、曾我、小山田、東野、室井、三沢、大森君が進級しました。

新人コーチは米元、飯島、千秋、斉藤、吉田、芝田さんの計6人でした。

また、3月末までに退任されたコーチは東野、岸川、安井、赤池、清水孝、計良、濱田和、神下高、向野さん計9人です。長い間ご指導頂き、ありがとうございました。

今年はマウスピースを日大歯学部のご協力で高学年の生徒が各人購入しました。またコーチ用ポロシャツも新規作成しました。日大グラウンドでの試合も日大フェスタ以外に大和RS交流試合に加え、秋季交流大会と県大会の2回公式戦を開催しました。

2、3月では月2回土曜日に自由練習の試行を行い、生徒・コーチの対応などについて検証しました。

以上

## あつという間の3年間

中学コーチ 小坂

3年生の諸君、御父母の皆様、卒業おめでとうございます。

3年間はあつという間の時間でした。DAGSに入ってきた最初の印象はみんなかわいいなあ・・

という感じでこんなかわいい子供がラグビーを・・と思いましたが、いつの間にか声変わりをして、ごつごつしたおやじ顔へと変貌・・個性的で機動力があるおもしろいチームでした。

キャプテンの風太・・チームの努力家 ボールを持って帰ってはパスの練習、行雲・・小さい体でハードタックラー、悠太・・大人とコミュニケーションがへたくそ ラグビー大好き、岳哉・・不器用だけどガッツあるプレー、昌哉・・出席率はチーム一 外周走を3年間で20秒も早く走れるようになった、航平・・鋭いカットインと前に出る気持ちはチーム一。

3年で優勝を目標に頑張ってきましたが、結果は3位・・結果は残念でしたが、雰囲気も良く、とっても良いチームでした。

昨年は東日本大震災や、海外での洪水など経験した事のない天災のとても多い年でした。

改めて自然の偉大さを認識し、家族や友人との「絆」をもう一度真剣に考えさせられる1年でした。

このDAGS(麻生RS)での絆をいつまでも大事にしてください。

また、昨年2011年に“神奈川DAGS”として単独チームとして登録、君たちは新生“神奈川DAGS”の第1期生となります。新生神奈川DAGS、単独チームとして2011年開校・・

その記念すべき第1期生が君たちです。誇りと自信をもち。感謝の気持ちを忘れず、これから頑張ってください。何年かしたらこのスクールに戻ってきて一緒にラグビーをしましょう。

## 卒業生へ

DAGSコーチ 小松 正己

卒業生諸君、DAGSでの3年間はどうかだったでしょうか。グリーンRSとの合同チームでとまどいもあつたでしょうが、DAGS一員としてチームがまとまり素晴らしい仲間と3年間ラグビーを続けてくれました。これから高校生となり、新たに旅立つ君たちはラグビーを通して学んだことを活かしてくれることと思います。卒業してもかわいい後輩がいますので日曜日に時間があつたら遊びに来てください。これからの活躍を信じております。

## 感謝

中学3年 猪腰 風太

僕は中学の友達に「何故、ラグビーなんかやってるの？」と聞かれます。確かにラグビーは痛いし、コーチは怖いし、練習は辛いし。サッカーより全く地味だし・・・・・

正直言って、昔の僕は、ただ王禅寺小学校のグラウンドの兄達の練習に仕方なくついて行くだけで全然ラグビーへの思いなどありませんでした。

でも今、同じ問いをされたらこう答えます。「風太はラグビーが好きです。大好きです」と。

生まれて15年経ちました。その半分以上は楕円のボールを追っかけてきました。これからも追い続けると思っています。

今、僕は感謝しています。

ラグビーに出逢えたことを、素晴らしい仲間達と出逢い、素敵なコーチと出逢えたことを。

麻生ラグビースクールありがとうございました。

## 卒業

中学3年 千葉 航平

僕にとってDAGSは、もっと参加したかった、という思いでいっぱいだ。中学の部活でのラグビーがどうしても優先されてしまい、さらに学校行事やテスト、そして補修(これは、成績が基準に達しない自分が悪いが)で参加ができないことが多く、とてもとても残念だった。

DAGSの小坂コーチには送迎や、たまにしか参加できない僕にも声をかけ励ましていただいてとても感謝している。送迎では横尾コーチにも甘えっぱなしだった。ありがとうございました。高校でもラグビーを続けていくが、DAGSや、麻生RSの名に恥じないように頑張るつもりだ。

### 《ありがとうございました》

中学3年 小野 悠太

DAGSでの三年間は、怪我の連続でした。その上、三年の一番大事な時に怪我をし、夏の合宿にはもちろん、最後の県大会にも出られず、神奈川県代表選考会の練習にも参加出来ず、医者には[ラグビーを諦めなさい]と言われたほどの大怪我だった。このまま、本当にラグビーを諦めようかと…。

2ヶ月のギブス生活で、自分がこんなにもラグビーが好きな事に気づき、中学最後にもう一度、グラウンドに立ちたいと、厳しいリハビリに耐えた。

そして三ヶ月後、見事ラグビーに復帰した。

麻生、DAGSラグビースクールで学んだことをいかし、高校でも、おもいきり、楽しみたい。

ご指導ありがとうございました。

### 『三年を終えて』

中学3年 横尾 昌哉

ダッグスで学んだ三年間はとても内容の濃い三年間でした。麻生での仲間や、ダッグスでできた仲間と共に、辛い合宿や県大会をのりきってきました。高校では離れ離れになってしまうけれど、僕もまた、みんなと試合で戦えるように強くなりたいです。

そして最後にコーチの皆さんへ、今まで本当にご指導ありがとうございました！これからは今までの経験を糧にして頑張りたいと思います！

皆本当にありがとう！

→中学2年 棚橋 耕太郎

3年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

高校生になったらラグビーを続ける人、続けない人がいると思います。でもラグビーでやってきた事を高校生活でも生かして欲しいと思います。

僕はフォワードをやっていますが、3年生の先輩から色々な事を教わりました、タックルの入り方や攻め方、スローインの時のボールの投げ方など教えてもらいました。

また3年生の先輩方の勢いはすごくて、僕達もあんなふうには勢いある3年生になりたいと思いました。

今までありがとうございました。

高校へ行ってもがんばってください。

風太へ

中学3年 猪腰 風太の母 協子

ラグビーに出会えていなかったらどんな 12 年だったんだろう。

風太という名前を付ける時「風なんて付けたらどこかへ飛んで行ってしまいそうだからやめようよ」と反対した記憶がある。案の定幼い頃から外ばかりで遊び、家に居る事は少なかった。12 年前兄達の練習に付いてゆき出会ったラグビー。

いつの間にか、泥まみれになり、傷をおいながらグラウンドを激しく走り続ける息子は風になっていた。

そしてその風は、最後に花園まで家族までも連れ飛んで行ってくれた。

風太と名付けて良かったとはじめて思った。

ラグビーの風はこれからも多いに吹き続け、私達をもう一度花園に連れて行って欲しい。

ありがとう風太、卒業おめでとう。

息子達へ

中学3年 猪腰 風太の父 弘之

お前達が俺の息子でよかった。父はお前達を誇りに思う。

我が家のこの 12 年の毎週日曜は誰かが、どこかのグラウンドで必ず走り回っていた。だから家族全員で海や山や温泉やディズニーランドには行くことはなかった。せめて行くのは、日曜の夜の百合丘「いくどん」ぐらいで、それも父だけ飲み続ける晚餐。それはそれで我が家の家計は助かるのだが……

風太が一貫に入るとますます、休日はラグビー一色となっていく。TV の CM で流れる家族の休日の風景は我が家にはない。妻の運転するセレナのナビには県下、都下のグラウンドがもれなく、登録されているのではないだろうか。

しかし父はこう思う。この 12 年、穏やかな自然より、癒される温泉より、華やかな遊園地より、父は息子から壮大な感動と夢と愛をもらい続けてきたのだと。そして何より、お前達のおかげで父や母は素敵な大人達と出会うことができた。

なんと至福の 12 年だったんだろうかと。

猪腰家はこの春、麻生ラグビースクールを卒業する。父は感謝する。誇れる息子を育てくれた日曜日の愛すべき人々に。

我が家は麻生 RS で第 2 ステージに入りました。次男咲太が背番号 88 のコーチジャージをもらいます。風太もいずれコーチとして麻生に戻ることが父の夢です。

《いつの日か…》

中学3年 小野 悠太 母

怪我に始まり、怪我で終わった中学ラグビーの3年間でしたが、ここまで続けてこれたのは、優しいコーチの皆様とご父兄の皆様のお陰だと、心から感謝致しております。

他のご家庭のように、両親揃って子供をバックアップする事が出来ず、辛い思いをさせていただきましたが、ここまで頑張ってくれたのは、本人のラグビーへの思いの強さだと思っております。

ラグビーに出会えた事、ラグビーを通じて得る事が出来た仲間…そして《ONE FOR ALL》の精神は、これからの人生を歩む上で、かけがえのない宝ものとなることでしょう！

これらの宝物を授けてくださった麻生ラグビースクール、そして DAGS の皆様に、心から感謝致しております。

そしていつの日か…ささやかでも恩返しが出来れば…と思っております。

本当にありがとうございました。

青春だなあ！

中学3年 千葉 航平母

小学校4年の11月からお世話になったラグビースクールもいよいよ、卒業です。この2年間、特にDAGS最後の中3は学校の部活優先でほとんど参加できずに残念でした。わが子に限ってとっていたら、お定まりの反抗期もやってきて家では会話がないうちでも、母と子はラグビーの話題でだけは、つながっていました。部活の練習で悩み、最後の年は都大会で勝てずに涙し、ボソッと「DAGS優先でやってたほうが、個人的にはうまくなったかもしれない」と後悔に近い本音をこぼしたこともありました。DAGSの方がチームのレベルが高いとわかっていても参加できない自分にいら立つことありました。それもこれも、青春の思い出としてきっと後で懐かしく振り返ることでしょう。今は、まだ、もやもやした気持ちが残っていても……。気まぐれのように時々練習に顔を出すわが子にも励ましの声をかけてくださった小坂コーチには心から感謝しています。昨年の震災後、実家の岩手に私が週末は、帰省することが多くなり、送迎がなかなかできず横尾さんにも大変お世話になりました。ありがとうございました。

ご卒業おめでとうございます

小保方(行雲祖母)

卒業生やご家族の皆さんとは10年来のお付き合いになりました。

最初はラグビーボールそっちのけで砂場で遊んでいた子供たちがいつの間にか大人たちの背を超え、見上げるように大きい青年へと成長してしまいました。大きなボールを抱えて走っていたあの頃がついこの間のような気がします。

行雲にとってこの12年間は色々なことがありましたが、特に最後の5年間は毎日曜の練習や試合に都内から毎回泊りがけで参加し、よくここまで続けてくれたものと思います。偉かったね～。行雲はこれでラグビーには終止符を打つようですが、2019年日本で開催されるワールドカップに活躍する選手が君たちからきっと出てくるよう応援しています。

苦しかった練習、思うようなプレーが出来なくて試合に負けてしまった時の悔しさ、週一回仲間を信じボールを追いかけまわした時間は君たちの人生にきっと役に立つことがあると思いますのでこれからも自分を信じて頑張ってくださいね。

最後に親身になって面倒見てくださったコーチの方々、ラグビーの仲間、ご父兄の皆様にご挨拶を兼ねて感謝しています。有難うございました。

またどこかでお会いするのを楽しみに…

## 6年生の集合写真



後列 大森、佐々木父、梅津父、亀田母、山中母、デヴィ母、梅津母、小作母、佐々木母、山本母  
中列 木下、康大、良我、凌介、晃平、暁、陽平、梅津葵、山中大治  
前列 風間、三沢、三浦、航平、幹太、幹斗、デヴィ、加賀 10/16 県大会の中野グラウンドにて

小学部を修了する6年生たちへ

6年チーフコーチ 加賀 司

小学部修了おめでとう。

君たちとは2年生からの付き合いとなり、最後はチーフコーチとして君たちを担当しました。

チーフコーチに就任するに当たって以下のことを父母・コーチへお話ししました。

『6年生での目標は、県大会での優勝であり、また昨年から実施されたミニラグビーファイナルカップの優勝も目指し努力していきます。そして県大会の打ち上げや修了式には美味しいお酒が飲めるようにしたいものです。しかし、スクールとしては、表面的な優勝が目的ではなく、「次代の担う若者づくり」として子供達が成長できるように手助けすることが目的です。中学に進学してもラグビーを続けてくれることが一番ですが、他のクラブ活動でも良いです。高校・大学・社会人としてこのラグビー精神を生かし、この国・世界を支えてくれる人材になってくれるよう期待しています。

「こころは誰にも見えないが、こころづかいは見える。」「思いは見えないが、思いやりはだれにでも見える。」  
今TVで毎日流れている言葉ですが、それらを実践できるような人間になって欲しい。自分たちが使うボール・ユニホーム・スパイクやグラウンドに、また相手チームの選手・コーチ・父母に大会関係者の方に、そしていつも君たちを支えてくれている父母、兄弟姉妹に、ついでにコーチにも』

夏合宿で三浦校長は、子供たちのハートにまだ火を点けられなかったと言っていました。三沢コーチも気の抜けた最後のランパスに駄目出しがありました。しかし子供たちに種火は確実に点いたと思い、これから秋の県大会に向け、その火を根気強く見守り、大きく育てて行きたいと思っていましたが、受検組の離脱で夏合宿以降は中々思う通りの練習ができませんでした。

県大会も1勝2敗の結果でした。しかし2敗で迎えた最終戦は麻生リードも終盤に逆転され、敗戦濃厚の状



態で最後の最後に逆転する素晴らしいゲームでした。

一番警戒していた大和の14番に走られて簡単に先制されましたが、すぐに取り返してその後互角に試合を進め 後半も麻生5mでの大和ペナルティからトライされて一進一退でリードするも最後に連続トライで逆転されるが 最後には全員が集中力を切らさず、絶対に勝つぞと言う気持ちで暁が飛び込み勝ち取った逆転のトライです。今までの2敗の悔しさを拭き晴らすような全員で勝ち取った1勝に父母・コーチ一同感動した試合でした。

今までの悪かったところが修正され、全員が自分の力を100%、最後まで集中力を持って絶対に勝つぞと言う気持ちでプレーできた素晴らしい試合でした。感激・・

2月のファイナルカップも県大会から各チームともレベルUPして子供の体も大きくなっており、結果はリーグ戦1勝2敗、ボール戦で横浜YCに負けましたが、最終戦で茅ヶ崎をシャットアウト。

また3月4日の6年生最後の試合となった田園戦では35:5で勝利し、有終の美を飾りました。

6年生のみんな、感動を与えてくれたいくつもの素晴らしい試合をありがとう。

さて4月からは夏合宿で練習ポイントを丁寧に説明して頂き、子供たちから「よく判った」と好評であった小坂コーチの待つ中学部のDAGSに全員が進級してくれることを期待しています。

最後に今まで子供たちを麻生ラグビースクールに託して頂いた6年生ご父母の皆様、チーフコーチとして至らぬ点もあり、色々とサポートして頂きありがとうございました。

また、チーフコーチを支えて頂いた6年コーチ各位にもこの場を借りて感謝します。

■君たちの麻生でのあゆみは後半にまとめましたが、1人1人へのメッセージを書きます。

康大： 麻生ラグビースクールのキャプテン、ご苦労様でした。声は良く通るしキャプテンシーもあり、理想的なキャプテンとしての素質を持っていましたが、受験との関係で中々実践できる機会が少なかったのが残念ですね。しかし、CTBとしての君のアタックは猪突猛進の感じだが素晴らしかった。大きな相手にも果敢にタックルに行く姿にみんなは勇気づけられたことでしょう。さすが麻生のキャプテン。

航平： キャプテンがいない事が多かったけどバイスカプテンとしてみんなをまとめてくれてありがとう。この1年はケガとの戦いでもあったね。満足に練習する機会も少なく、ストレスが溜まっていたでしょう。でも最後の麻生・田園対相模原・グリーン戦でゴール前まで独走しタックルで倒されても、手を伸ばしてダンボールしたあのトライはみんなの記憶に残る素晴らしいものでしたね。中学生になればもっと走力も付いてくるので走れるFWとして花園を目指せ。

凌介： 6年生からFBとなり麻生の最後の砦として何度となくタックルで相手を倒し、トライを防いでくれてありがとう。頼れるFBとしてまたゲームキャプテンとして本当に良く6年生をまとめてくれました。中学では同じ能力のあるグリーンの子に負けないようにお互い切磋琢磨して花園を目指せ。

幹太： 中々上手くならなかったけど、こつこつとひた向きに練習をしていましたね。君の背筋はずば抜けて強いので、強いタックルができるはずです。中学生になればもっと走力も付いてきます。中学でもラグビーを続けてください。必ず良い結果がついてきます。

幹斗： 怒りっぽい性格で3, 4年生のころはみんなとケンカすることもあったけど、今では良い仲間になったね。まだまだ末っ子として甘えているところもあるけど、日大Gでのお兄ちゃんへの後ろからのタックルすごかったぞ。この間の田園戦ではタックルに絡まれて、またケンカ気が出ましたが、なんとかこらえていましたね。中学でもみんなと仲良くしてください。

デヴィ： 君の恵まれた体やみんなにはない素晴らしい体幹は持って生まれたものです。この素質を十分に生かして中学でもしっかり走る事。しんどくても途中であきらめないで、最後まで続ける事ができれば中学3年生での花園が待っているぞ。

暁： 水泳練習後のラグビーであまり練習ができなかったね。またポジションも色々変わって迷っていたけど、最後のSHは天職のようでしたね。モールやラックから良くボール出しができたし、隙あらば自分で走って、大和戦の決勝トライでしたね。中学でも大きな体を生かしてSHができるようにグリーンの子に負けるな、花園が待っているぞ。

陽平： 6年生からSOとなり麻生の司令塔として色々な攻撃パターンを覚えましたね。試合では余裕が無いのか1パターンになりがちでしたが、余裕がでれば色々なパターンで試合を楽しっていました。これからはもっと走力を付けて、タックルが上手くなればもっと楽しいラグビーができるぞ。中学でもSOができるようにグリーンの子に負けるな。

晃平： WTBとしてトライゲッターのはずが、トライは少なかったけど、その分しっかりと味方をフォローして繋いだりしていましたね。これからはもっと走力を付けて、タックルが上手くなればもっと楽しいラグビーができるぞ。中学では同じ能力のあるグリーンの子に負けないようにお互い切磋琢磨して花園を目指せ。

良我： 夏合宿での試合では素晴らしい活躍で菅平賞を獲得しましたね。その後、中々結果がでませんでしたが、ファイナルカップでの横浜YC戦や3月の田園戦でも復活しましたね。

もっと自信を持って中学でもみんなと一緒にDAGSでラグビーを続けてください。

以上

小学部を修了する6年生たち



後列 康大、良我、凌介、晃平、暁、陽平、前列 航平、幹太、幹斗、デヴィ

CTB:山中 康大(キャプテン)

「麻生ラグビースクール卒業します！」

僕は1年の冬に入部しましたが、あっという間の6年間だったと思います。スクールでの思い出はまずは夏合宿！3年生の時は一番小さい学年だったので6年生がすごく偉大に思え、自分もこんな6年生になりたいなあと考えていました。6年の夏合宿まで毎年合宿ではつらい練習がありましたが、皆がいたから乗り越えることができ、このことでチームワークの大切さを学びました。そして6年の県大会では横浜と藤沢に負けてしまい、後がない中でのぞんだ大和戦。チームの一体感と相手に取られてもあきらめない気持ちを学び、その結果勝利を勝ち取ることができたのは大きな自信になりました。最後の公式戦であったファイナルカップでは、受験組が3カ月練習から離れている間、毎週練習を続けていたメンバーと5年生のサポートがあったから出場することができました。僕たちの学年だけでは出場さえできなかったかもしれなかったので感謝の気持ちを学ぶことができました。

麻生ラグビースクールでは様々なことを学び成長させてもらったと思います。今の自分があるのは、これまで三浦校長や多くのコーチの方々が教えていただいたからです。この麻生ラグビースクールでの経験や自信を生かし、中学になってもラグビーを続けたいと思います。これまで本当に有難うございました。

SO:佐々木 陽平

「ラグビーが教えてくれたこと」

僕はラグビーを楽しんでやることができました。最初は自分がトライをすれば満足でしたが、今は皆で力を合わせることによってトライをする喜びが少し分かったような気がします。

ラグビーを続けたことによって仲間の大切さを実感することができました。

麻生ラグビースクールに入って本当に良かったと思います。ラグビーのことだけではなく礼儀・態度などを教えてくれて有難うございました。

FW:小作 航平(バイスキャプテン)

卒業に向けて

ぼくが、この麻生ラグビースクールを卒業するにあたり感じていることは、6年生ではとても残念だったなと思いました。なぜかという、県大会は怪我で2試合出られなかったし、ファイナルカップも少しか出られなかったからです。

でも、少しずつしか出られなかったけど、おかわり試合の茅ヶ崎戦では自分でトライもできて、勝てたので良かったです。今回のファイナルカップは、福島チームをよんで試合ができ、福島の友達もできて、とても良かったと思っています。

新6年生の皆さんへ

新6年生のみんなは、麻生ラグビースクールを引っぱっていく役目があるので大変だけど、人数が多いから、みんなで協力してがんばってね。普段の練習での声出しだけじゃなく、合宿での班長もあるから、班の人と協力して、特に合宿が初めての3年生をうまくリードしてあげてください。

次の6年生としてもがんばってください。

新1年生から新5年生のみんなも、新6年生を支えてあげてください。

今まで一緒に戦ってきた6年生のみんな、県大会やファイナルカップで助けてくれた5年生のみんな、そして、ぼくたちをきたえてくださったコーチの皆さん、今まで本当にありがとうございました。

FW:亀田 幹太

7年間を振り返って

僕は幼稚園の頃からラグビーを続けてきました。最初の幼稚園の頃はふるさと公園で航平と暁などと一緒に練習をしていましたが、日につれて練習場所もふるさと公園から王小に変わったり、新しい仲間が加わったりしたりして、それと同時に練習もだんだん難しくなってきましたが、なんとか乗り切ることが出来ました。僕は中学生になってもラグビーを頑張って続けて行きたいです。

SH:梅津 暁

「麻生ラグビースクール卒業」

僕は幼稚園の頃からラグビーを始めました。約8年間で一番心に残っている事はファイナルカップです。ファイナルカップでは、一人ひとり全力を出せて皆が一つになって楽しく試合ができました。でもタックルなどはもっとうまくできるように、これからの練習も頑張ろうまくなりたいです。

FB: 山本凌介(ゲームキャプテン)

六年間を振り返って

麻生ラグビースクールを始めてからを振り返ると、六年生までがあっという間に過ぎました。

それは、ラグビーが好きだったし、楽しかったからあっという間に過ぎたんだと思います。

ラグビーを好きになったのは自分がミスをしたら仲間がアドバイスをしてくれたり、逆に良いプレーをしたら「ナイスプレー」とほめてくれる。そういうことの積み重ねが今思っているこのような気持ちになるんだと思いました。

しかし、何よりもコーチや親の応援があったからだと思います。でも県大会やファイナルカップでは、あまり良い結果を残すことが出来なかったけど、最後まで応援して下さいありがとうございました。

そして卒業してもみんなと一緒にDAGSでラグビーしたいです。

FW: エラガ・デヴィット

麻生ラグビースクールでの思い出

ぼくがラグビーを始めたのは四年生の終わり頃でした。たった二年間しかいないのにたくさんの思い出ができました。

入って1ヶ月たつたないかでルールもよくわからないまま出た初めての試合とにかくトライをすれば良いと思ってボールを持ったらトライを狙いその日2試合で3トライ取る事ができてとても気持ち良くうれしくて楽しかったのを覚えています。

でも夏合宿では暑い中ランパスが本当にキツかったもうムリと諦めそうになったけどみんなが、デヴィ、ガンバレ!!ってたくさん声をかけてくれて、一緒に走ってくれたから最後まで走る事ができました。

今まで練習に何度も行くのがイヤになりそのたんびお母さんとケンカをして「じゃあ やめなさい!!」って言われたけど、ぼくはラグビーが嫌いになったわけじゃなくて、ただキツイ練習とコーチ達に厳しい事を言われるのが本当につらかった。

でも、今では、コーチ達がなぜ厳しい事を言ったのかわかるようになってきました。

他にもたくさん思い出にはあるけどぼくは9人の仲間に出会えた事が、1番嬉しいです!! コーチ達、母さん達、みんなありがとう!!

FW: 白川 幹斗

「卒業」

僕は、あと少しで麻生ラグビースクールを卒業します。

思い出せば、たくさんの思い出があります。僕が麻生ラグビースクールに入ったきっかけは、麻生ラグビースクールの卒業生の宇田コーチと兄が高校のラグビー部と一緒に、試合を観に行くようになり、麻生ラグビースクールに誘われてラグビーを始めました。

最初はルールが分からずにながむしゃらにやりましたが、夏合宿や練習をして、県大会を経験しながら学年が上がっていくに、少しずつルールを覚えていきました、しかし、試合になるとなかなか思うように動けず残念な結果に終わることが多かったです。

僕たちの学年は、最後の県大会やファイナルカップは、悔しい結果になってしまったけれど、新6年には、頑張してほしいです。

僕は、DAGSに入って頑張っていきたいと思っています。

コーチありがとうございました。6年生のみんなありがとう。

WTB 佐々木 晃平

ラグビーに感謝

ラグビーを始めるきっかけは幹太に誘ってもらったからです。

毎週、練習に行くのが楽しみでした。でも、学年が上がっていくうちに練習が厳しくなり、時にはずる休みをしようかと思ったこともありました。でも、校長・コーチ・仲間のおかげで最後までやりぬくことができました。

今まで、僕にラグビーを通して色々なことを教えてくれた校長・コーチ有難うございました。

WTB: 越野 良我ラグビーを始めて

僕が、ラグビーを始めてから体力もついたし、少しは強くなったのでラグビーを続けて良かったです。又、チームのみんなで、県大会やファイナルカップを戦えてとても楽しかったし、良い思い出が出来ました。

中学生になっても、いままで習ったことや頑張ったことを無駄にしないようにしていきたいです。

## そして卒業

6年コーチ 三沢 洋

あつと言う間の一年間だった！  
坂道を駆け上がった春  
素晴らしいピッチで練習できた夏合宿  
ミニ合宿で気持ちを一つにして臨んだ県大会  
全員の気持ちが一つになった最終戦は見事勝利！  
秋の練習はさびしかったけど  
ファイナルカップ前には全員で練習できた！  
残念な結果だったけど、1年間みんなでラグビーが出来た！

4年生のゴールデンウィークにコーチとなり約2年と11ヶ月  
子供達には、言い尽くせない感謝の気持ちでいっぱいです！

本当にみんなありがとう！

4月からの“DAGS”の練習では中学の頂点を目指して  
思いっきり練習しよう！

麻生ラグビースクール小学部修了おめでとう

6年コーチ 木下 義之

ラグビーを、幼稚園から始めた人、小学生から始めた人も、麻生ラグビースクールに居た時間は少しずつ違  
うけれど、みんなで修了する事が出来て本当に良かったです。おめでとう！！

君達は、練習が終了するとカードゲームの話や誰かの家に遊びに行くとか仲が良く、それが輪となりラグビ  
ーでは、細かく繋ぎ続けるチームでしたね。

繋ぐラグビーでトライをした時は本当に全員が笑顔で感動的でした。

週一回の練習と夏合宿を一緒に過ごしたことは、大切なものが残ったと思います。

これからも、この仲間の事は大切にしてください。

全員で、もっとラグビーをしてほしいと思います。

## 有終の美

6年コーチ 大坪 功

ファイナルカップ後の田園 RS との交流戦 10人の仲間たち全員が揃い、最後の最後は助っ人無しで挑む  
ことが出来ました！

一人一人がこの仲間、このチームでゲーム出来るのは最後なので、“おもいっきりラグビーを楽しもう！”と  
いう感情が皆をスパークさせたのでしょうか？！本当に一人一人が全力を出し尽くせたナイスゲームでした。  
最高の有終の美を飾れたね！

このゲームをとおし、今まで出来てなかった一皮むけたナイスプレーも随所に見られて、本当にビックリさせ  
られました。6年生の皆！最後の最後まで感動をありがとう！

卒業してからも、これらの経験を糧に何事にも全力投球出来るよう頑張ってください！そして、これからももっ  
とラグビーを楽しもう！！

## 最終ゲーム

6年コーチ 松岡 智

国学院大学たまプラーザキャンパスグラウンド。6年生チームの最終戦は、ファイナルカップで苦杯をなめた田園ラグビーチームの20周年記念招待試合でした。中学に進学すれば、もうこのメンバーが全員そろってラグビーすることはありません。ラグビーの試合はこれが最後になる子だっているかも知れません。この試合はそんな君たち10人の思いがひとつになり、相手チームや観戦したコーチやお母さんさんに自分たちの存在をしっかりと主張できたベストゲームでした。「心豊かにイキイキと楽しくパフォーマンスすること」は、ラグビーに限らずこれからの人生全てにおいて重要です。震災から一年が経過しようとしています。日本の復興にもつながる大切な心だとコーチは思っています。最後に記憶に残る勇姿を見せてくれた10名のラグーマンに敬意を表します。ありがとう。

## 卒業おめでとう

6年コーチ 岸川 泉

麻生ラグビースクール小学校の部卒業おめでとう！

幼稚園・保育園から入校し6年以上在籍したきみも、小学生になって入校してきたきみも、麻生ラグビースクール(小学校の部)は卒業となった。君達は確実に進歩し、ラグビーも精神力も強くなり成長した。人数が少ない時もあったが、仲間力は神奈川のスクールで1番だと思う。

でも、あの時低いタックルができなかった。相手のペナルティに早く反応ができなかった等不完全燃焼のきみへ伝えたい。

ラグビーでも他のスポーツでも勉強でも何でもよいから、完全燃焼するまで打ち込めるものを見つけて下さい。できればラグビーを続け、これ以上進歩しないコーチ達をサポートするために、将来麻生ラグビースクールに戻ってきてほしい。

## 小学部卒業おめでとう。

6年コーチ 田村 駿介

6年生のみなさん、卒業おめでとうございます。

麻生ラグビースクールでのラグビーはいかがでしたか？

2010年1月に初めて顔をあわせてから今まで短い間でしたが、一緒にラグビーをする事ができて楽しかったです。

4月からみんなは中学生です。これから先、ラグビーを続ける人もそうでない人も、麻生ラグビースクールで学んだ事と一緒にラグビーをした仲間の事を忘れずに、そして中学では自分が心から熱中できるものを何か見つけて頑張ってください。(中学3年間はあつという間だから気を抜かずに。)

## 「卒業を迎えて」

6年 白川 幹斗の母 白川 真美

あんなに、ブカブカだった赤紺シャツが今ではピッタリになりました。

入部した頃は、ためらいなくできていたタックルが出来なくなったり、試合中にムキになって注意されたり、仲間とけんかしたりと、迷惑をかけたり心配することが多かったけれど、辛い練習や苦しい事があっても、家に帰ってきて愚痴を言ったり、休んだりすることは無かった。この事は本当にすごいなと思いました。

良きコーチや仲間にも恵まれたおかげだと感謝の気持ちで一杯です。

麻生ラグビースクールで、ラグビーのルールだけではなく、人との関わり、優しさ、仲間の大切さを教えていただきました。麻生ラグビースクールでの4年間は、幹斗にとって最高の思い出になると思います。

支えてくださった、コーチの皆さま、父・母・そして仲間、本当にありがとうございました。

## 感謝

6年 越野 良我 の母 越野 裕子

春本番も間近となりました。三年前、山中康大君に誘われスクール見学に行きラグビーをしようと言った息子を思い出します。正直、三年間続けられるとは思っていませんでした。これもひとえに陰で支えてくれたご父兄 コーチの方々のご指導のおかげと、あらためて感謝申し上げます。

これから中学生という多感な時期に入りますが、ラグビーで鍛えられた精神・体力を糧に過ごしてくれる事でしょう。

麻生ラグビースクールに出会えた事親子ともに幸せな事と感じております。ほんとうに、ありがとうございました。

## 7年間を振り返って

6年生 亀田 幹太の父直幹

幹太が幼稚園の頃よく通っていた小児科の待合室に、ラグビースクールの生徒募集ポスターが貼ってありました。切り取って持って帰れるように、切り込みの入った問い合わせ先の切れ端をちぎってポケットに入れたのはもう7年も前のことです。ふるさと公園で練習もそこそこに虫を捕ったりしていたころ、王小で6年生の練習をみて「スゲーな」とビックリしたことを今でもよく覚えています。その頃は息子が卒業までラグビーを続けることなどは想像できませんでした。「あっ！」という間の7年間でした。でも、これはあくまで私の感想。当の息子にしてみたら、7年の間には辛いことも沢山あったのだらうと思います。しかし弱音や愚痴もこぼさずよく続けてきました。我が子ながら大したもんだと思っています(甘い?)。ただ、息子が続けてくれたのは、彼一人の頑張りだけではありません。コーチの皆様が根気強く期待を掛けて見守ってくれ、また、何よりチームの仲間が幹太が苦しんでいる時も励まし続けてくれたおかげだと思っています。心より「ありがとうございました！」

## 二年間を振り返って

六年 エラガ デヴィッドの母

私自身、正直ラグビーには全く興味がありませんでした。デヴィが、ラグビーの体験に行くと言い出した時も いい顔はしていませんでした。何回か体験をさせてもらい、とても楽しかった様でまだ入会もしていないのに図々しく餅つき、そして新年会まで参加し帰って来てから「あー飲み会楽しかった！又、飲み会に行きたいから、俺ラグビーやるよ！だからコーチに電話しておいて」と言われ、新年会まで参加しておいてこれで知らん顔は さすがに失礼だなという思いで、コーチへ入会の連絡しましたが、あまり気乗りはしていませんでした。

しかし、もともと身体を動かす事が好きなデヴィには、全身を使い動き回れるラグビーは合っているんだなと感じたと共に、なにより仲間と楽しくラグビーをしている姿を見てとても嬉しくなりました。

この二年間、子供達には笑いや感動を沢山与えてもらいラグビーを通して楽しい時間を過ごす事が出来ました。

今では、麻生ラグビースクールに入会させて本当に良かったと思っています。

今まで、いろいろご迷惑をお掛けしてしまいましたがいつも支えて下さったお母様方、そして子供達を愛情いっぱい鍛えて下さったコーチの方々には感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。

## 「6年間お世話になりました」

6年生 山本凌介の父

小学校1年の4月に入学し、6年間特に大きなケガ無く無事に卒業することができました。ありがとうございました。

振り返れば、ラグビーを通じていろいろなことを学ばせていただきました。

1年生では仲間と仲良くすることを学びました。

2年生ではボールを持って走ることを学びました。

3年生では勝つことの喜びを感じることができました。

4年生では負けることの悔しさを学びました。

5年生では9人で戦うことの難しさを知りました。

6年生では仲間との絆が深まりました。

全て息子にとって大きな財産になりました。小学部は卒業いたしますが、DAGSでも感謝の気持ちを忘れずに頑張ってもらいたいと思います。息子の為にご指導をいただきました全てのコーチの皆様、温かいご声援をいつも送っていただいた6年生のご父兄の皆様に改めて感謝申し上げます。

本当にありがとうございました。

## 親子で卒業するにあたって・・・

6年 山中 康大の母

あっという間の6年間でしたが、三浦校長をはじめ、コーチの方々、いつもたくさんの愛情を注いでくださり、時には厳しくご指導くださり、本当にたくさんの愛情に包まれて、過ごせた6年間でした。そして、学年を問わず練習や合宿、試合、いつでも子供と一緒に頑張ってくださった、ご父兄の皆さまのご援助に感謝しております。

息子の康大は1年間キャプテンという大役をいただきましたが、務まるかどうか当初は心配いたしました。きっと、この仕事を成し遂げた時には自分にも、そして皆にも何か伝わるものがあるだろう。と思い、思い切りやるよう背中を押しました。自分の気持ちが伝わらなかつたり、チームがまとまらずに悩んだこともあったらうとは思いますが、いつも助けてくれたのは、やはり仲間だったと思います。6年はずっと人数が少ない状態でここまでできましたが、その分、とても仲良く、仲間を思う気持ちはどこにも負けないと思います。全員が集まるのが少なかった最後の1年も、仲間が全員揃う日を待ちながら6年全員で立派にスクールをまとめていてくれました。ありがとう！！

そして、ファイナルカップでは6年生以上にがんばってくれた5年生の皆さん、本当に感動しました。学年関係なく素晴らしいチームワークで一生懸命戦ってくれました。そしてご父兄の皆様のご援助も感謝しております。きっと来年はこの経験を生かして素晴らしいチームになることと思います。

そして、なかなか自分達らしい試合ができなかつたくやしさを払拭してくれるかのように、最後の試合ではこの学年の6年らしい最高の試合ができたと思います。いい表情でした！！ラグビーを楽しんで、そして、仲間と気持ちと気持ちをつなげたパスとトライは見事でした。この試合を見ていて麻生ラグビースクールでラグビーができて本当によかったなあと思いました。

ブカブカだったユニフォームも、もう着れなくなってしまった子供もいます。こんなに立派な最高学年になりました！！たくさん喜ばせてくれて、楽しませてくれてありがとう。

赤紺ジャージで一生懸命走る姿を父母達はずっと目に焼き付けて大事にしまっておきます。

たくさん思い出と感謝でいっぱいです！！

本当にありがとうございました！！



## 卒業おめでとう

6年小作航平の母 小作照美

6年生の皆さん、小学部卒業おめでとうございます！！

そして、私自身も卒業おめでとう！です。

航平がまだまだかわいかった4歳の頃は毎週ふるさと公園に通い、仲間のママたちとしゃべりまくっていました。あの頃はあんまりラグビーする姿を見ていなかったかな。

1年生になったときは、王禅寺小学校の硬い土の校庭で、ラグビー遊び(?)と砂場のお相撲が印象に残っています。力自慢の航平は相撲が得意だったね。

2年生の途中から今の日大グラウンドで練習できるようになって、私もほぼ皆勤賞をもらえるぐらい、本当に通い続けました。

航平のことはもちろん、仲間みんなの成長を見続けてこられて、とてもステキな時間を過ごさせてもらいました。みんなに感謝しています。

卒業の実感がまだないんですが、4月から私の生きがいはどうなってしまうのでしょうか。

だったら日大に行けばいいじゃん！って言われそうですが、でもねえ～・・・

まあ、航平が無事にDAGSに入ったあかつきには、日大練習日には登場しちゃうと思います。すみませんが、変わらずに声をかけていただけると嬉しいです！

本当に月日の経つのは早いもので、小さくてかわいかった航平が、あっという間に私の背を抜いて縦にも横にも大きくなって、寂しいような嬉しいような・・・複雑な心境です。

この大きく成長を遂げた時期、麻生ラグビースクールで仲間とコーチと過ごしてきた日々、これからの生活に超！プラス！になるはずですよ。

今の6年生は、全員が仲間を思いやる優しい気持ちを持っています。きっと、この麻生ラグビースクールの日々で教わり、身についたものだと思います。

大事なものを授けてくださった麻生ラグビースクールに、改めて感謝申し上げます。

三浦校長を始め、6年コーチの皆さま、本当にお世話になりました。

この日々のたくさんの感動は、ずっと忘れずに大切にしていきます。

本当にありがとうございました。

最後に、新6年生のママたち、後は頼んだよ～！ 頑張り——！！

最後に君たちの麻生RSでのあゆみをまとめてみました。

#### 幼稚園時代

小作航平君が年少の2004年3月に入校、4月に松山君、6月に梅津暁君、戸畑君(9月に九州転勤で退校)、佐原君(いつの間にか退校)が入校、7月に岩井君が入校、11月に小野君が入るも結局入校取り消しとなる。

コーチ陣は2003年4月時川村チーフ、加藤、滝澤、福岡、池田、森山、清水有、梅津、赤池

2004年4月佐藤雅チーフ、加藤、梅津、清水有、松田、竹下

2005年5月に亀田幹太君が入校する。

#### 1年生

2006年は航平、松山、暁、岩井、幹太の5人から4月山本凌介、澤友起君、5月北本鉄郎君、12月に山中康大君が入校、6月松山君大阪転勤で退校し、2007年2月佐々木晃平、陽平君が入校する。

コーチ陣は赤池チーフ、安井サブ、梅津、岸川、亀田、サポート木坂、竹淵で途中から山本さんが加入  
スクールとしては諸事情により吉村校長から三浦校長へバトンタッチされる。

#### 2年生

2007年は航平、暁、岩井、幹太、凌介、北本、康大、晃平、陽平の9人から6月岩井君退校(テニススクールへ)、10月白川幹斗君が入校、2008年3月に北本君が退校(世田谷RSへ)

コーチ陣は赤池チーフ、岸川サブ、梅津、亀田、安井、山本、新任で中西、加賀が就任する。

#### 3年生

2008年は航平、暁、幹太、凌介、康大、晃平、陽平、幹斗の8人から5月に目崎翼君が入校するもジャカルタ海外赴任のため2009年3月退校する。

コーチ陣は赤池チーフ、岸川サブ、亀田サブ、安井、山本、中西、加賀、新任で松岡、山中が就任する。

初めての夏合宿に参加 菅平賞は康大、県大会は1勝2敗1引き分け 10/12 大津G対大和 60-50、10/26 等々力G相模原A5-70●、11/9 なぎさG対横浜B7-40●、11/24 保土ヶ谷対茅ヶ崎B14:14△

#### 4年生

2009年は航平、暁、幹太、凌介、康大、晃平、陽平、幹斗の8人から4月藤原卓也君、5月越野良我君、12月エラガ・デヴィット君が入校し11人体制となる。

コーチ陣は赤池チーフ、安井サブ、新任木下サブ、中西、加賀、松岡、新任の田口、森賀、仙台転勤の岸川さんがサポートコーチに就任し、親コーチの亀田、山本、山中さんが別の学年に移動しました。

2回目の夏合宿に参加 菅平賞は卓也、県大会は1勝3敗 10/4 中野G対相模原B5:31●、10/12 秋葉台G対藤沢B42:12○、10/18 萩野G対鎌倉A0:50●、10/25 麻溝G対田園B0:40●

#### 5年生

2010年は航平、暁、幹太、凌介、康大、晃平、陽平、幹斗、卓也、良我、デヴィットの11人で色々と新人勧誘するも実らず。

コーチ陣は赤池チーフが北九州転勤となったため、安井チーフ、木下サブ、新任三沢サブ、中西、加賀、松岡、新任大森、田村、サポートに森賀、岸川、赤池、その後大坪、8月に風間さんが就任しました。

3回目の夏合宿に参加 菅平賞は幹太、県大会は3勝1敗で準優勝 10/24 大津G対横須賀A21:14○  
10/31 麻溝G対相模原B38:70、11/7 等々力G対田園B14:12○、11/14 海老名G横浜B14:57●

#### 6年生

2011年は航平、暁、幹太、凌介、康大、晃平、陽平、幹斗、卓也、良我、デヴィットの11人から7月に卓也君が退校し10人体制となり、かつ中学受験組4人が8月以降休部のため6人体制。

コーチ陣は安井チーフが仕事の関係から加賀チーフ、三沢サブ、木下サブ、中西、加賀、松岡、大森、田村、大坪、風間、安井、サポートに森賀、岸川、赤池さんが就任しました

4回目の夏合宿に参加 菅平賞は良我、県大会は横浜、藤沢が2勝1敗の優勝、麻生、大和が1勝2敗で一応、準優勝でした。

10/10 日大G対横浜B7:70●、10/16 中野G対藤沢B0:63●、10/23 麻溝G対大和 47:41○

ファイナルカップはリーグ戦1勝2敗 2/19 対福島合同 42:7○、対海老名 0:52●、対田園 0:28●  
ボール戦1勝1敗 2/25 対横浜YC26:28●、対茅ヶ崎 26:0○  
3/4 田園RS20周年記念試合 対田園B35:5◎、田園・麻生対相模原・グリーン 20:20 引き分け

以上

幼稚園から6年生までの写真集



2年生の夏合宿 赤池コーチと先頭暁、後方航平 これから虫取りに行く様子です。



1年生の3/18 藤沢戦 秋葉台グラウンドにて  
後列 安井、鉄郎母、山本、赤池、山中コーチ 前列 晃平、鉄郎、康大、凌介、航平、佳月、陽平



3年生の夏合宿

後列 岸川、加賀、山中、山本、亀田、中西コーチ 中列 安井コーチ、幹斗、翼、陽平、幹太、航平  
 前列 赤池コーチ、晃平、康大、凌介、暁



3年生秋葉台にて後列 岸川、山中、山本、赤池、亀田  
 中列 陽平、航平、幹斗、暁、幹太、安井、前列 康大、翼、凌介、晃平



4年生の夏合宿 後列 三沢、田口、松岡、外岡、赤池、加賀、中西、岸川、安井  
前列 航平、陽平、凌介、晃平、卓也、康大、幹斗、幹太、暁



4年生の鎌倉戦 海老名陸上競技場にて



5年生の夏合宿その1



5年生の夏合宿その2



5年生の横浜RS戦 保土ヶ谷ラグビー場にて 横浜RSとの記念写真



5年生の3月 日大生との記念写真 日大グラウンドにて





6年生 日大グラウンドにて



6年生の夏合宿



6年生のファイナルカップ 2/19 保土ヶ谷ラグビー場にて  
後列 梅津 暁、伊藤大吉、宮澤朋輝、越野良我、菅原健人、大坪勇太、佐々木陽平、小作航平  
前列 佐々木晃平、大森公乃示右、中司大也、山中康大、白川幹斗、山本凌介、エラガ・デヴィット



6年生のファイナルカップ福島合同との記念写真 2/19 保土ヶ谷ラグビー場にて 以上

## 「6年生の皆へ」

5年生チーフコーチ 小作 紀昭

5年前、前学年を見送り、1年生チーフコーチとして新たなラグビー生活が始まりました。結果、息子“航平”を1つ上に観ながら6年生のメンバーを近くに感じずっと一緒に進んで来たと思います。少人数で仲よしチームでしたね。(低学年の頃にはコンバージョンの時に皆が手をつないでキッカーを応援していたことを良く覚えています。)

5年生の県大会、等々力グラウンドでの試合では接戦で強豪田園に勝利。

6年生の県大会、中野グラウンドではそれまで交流戦で大敗していた大和に逆転勝利。

底力を出せた時には感動する結果を出すチームでしたね！

反対に「惜しい！」といつも思っていました。

先日の田園 20 周年記念の招待試合では、同じグラウンドに居ながらうっかり応援はできませんでしたがファイナルで敗れた田園にリベンジした結果を聞きました。

(最後の試合に皆の応援できなくて残念。)

これから先もラグビーに関わって行く子、新しいスポーツに進む子もいると思いますが、きっと小学校の週一回の記憶は一生残る熱い時間だと思います。

お世話になったコーチの皆さんと何年か後の同窓会の場で皆がそれぞれの路で堂々と再会できる、その日が楽しみでなりません。

卒業式の日には皆の成長したタクルを全員からもらって、見送りたいと思います。

また、麻生のOBとして皆がコーチとして戻って来てくれる日までコーチとして踏ん張れるよう

私も頑張ります。

卒業、おめでとう！！

## 「卒業おめでとうございます。」

5年生サブコーチ 山中 淳郎

6年生の皆、卒業誠におめでとうございます。たった 10 人しかいないのにこの1年間思うように人数が集まらずにもどかしい時期もあったと思います。しかし、小さい頃から仲良しで思いやりのある子が集まっていたこの学年、県大会での大和戦で見せてくれたチームの一体感と決してあきらめない気持ちは見ている者を感動させてくれましたね。これから中学に上がってラグビーを続ける子もそうでない子も麻生ラグビースクールで学んだチームワークやつらいことを乗り越える強い気持ちは誰にも負けません！自信を持って新しい道に一步踏み出してください。そして時々は大和稲城グラウンドにも顔を出して成長した姿を見せてくださいね！6年生の皆が卒業しても、君たちの意志をついで5年生も県大会とファイナルカップでの優勝を目指して頑張りますので、是非応援に来てください！待ってます！！

## 「6年生のみなさんへ」

5年生 安藤 慎吾

6年生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。

ぼくは5年生から入ったので、わからないことがたくさんありました。そんなとき親切にしてくれたのは6年生のみなさんでした。その中で特に心に残っているのは合宿です。ぼくにとっては初めての合宿で、わからないことだらけでしたが、6年生のみなさんにていねいに教えてもらったので無事に終えることができました。いままで、いろいろなことを教えてくれてありがとうございました。

ぼくはこれからみなさんのような6年生になって、最高学年としてがんばっていこうと思います。

中学生になってもがんばってください。

## 「ありがとうございました」

5年生 伊藤 大吉

6年生のみなさんご卒業おめでとうございます。中学でも麻生RSでならったことを、いかしてがんばってください。応援しています。

### 「6年生のみなさんへ」

5年生 井上 謙亮

一年間ありがとうございました。一番印象に残っていることは、ファイナルカップです。6年生のみなさん1人1人が全力でプレーをしていました。おしくもボール戦一回戦で負けてしまいましたが、その分ぼくたち新6年生ががんばって優勝します。ほんとうにこの一年お世話になりました。ぼくたち新6年が麻生ラグビースクールをひっぱっていきます。

### 「卒業する6年生へ」

5年生 大坪 勇太

6年生の皆さん、卒業おめでとうございます。  
この1年間は、6年生の助っ人に入る事が多くて、沢山学ばせて貰いました。  
試合中、僕が失敗して下を向いていると、「ドンマイ！！」と励ましてくれたり、負けそうな試合でも諦めずに皆で声を掛け合っていたり、とにかく、6年生の皆さんは年下に優しく、ハキハキしていて、凄く面白くて、根性がある所が沢山ありました。  
僕もこんな6年生になれるようがんばりますので、6年生も中学に行っても頑張ってください。そして、DAGSで、また一緒にプレーしたいです。

### 「6年生へ」

5年生 川原 奨平

ぼくは、夏の合宿で6年生が試合や練習に頑張っている姿が一番印象に残っています。また、宿舎でも6年生が中心になりぼく達の面倒をみてくれました。特にデビは寝る前にぼくを笑わせてくれたり、優しくしてくれました。

グラウンドでも6年生は、すごくチームワークが良く、ぼく達もそんなチームにしたいです。

そして、来年の今頃は、ぼく達も下級生からたわれるチームになっているように頑張りたいです。

中学生になっても頑張ってください。

### 「6年生のみなさんへ」

5年生 齋藤 裕太

6年生のみなさん、卒業おめでとうございます。

みなさんは僕たちの何倍もきつい練習をしていてすごいと思いました。

夏合宿でもすごく熱心に練習をしていて、部屋での移動もみんなをまとめていて、すごく尊敬しています。

ファイナルカップは途中までしか応援できなかったのが残念です。

卒業してダックスに入っても、入らなくても頑張ってください。

1年間ありがとうございました。

### 「6年生のみなさんへ」

5年生 佐藤 公亮

6年生のみなさん卒業おめでとうございます。6年生はいつもぼくたちと練習試合してくれたり、1年生から5年生をひっぱってきてくれました。それと、ファイナルカップではとてもいろいろなことを学びました。一つはせめる時とまもる時とのきりかえが速いことと、二つめはちゃんと相手を倒すタックルをしていること、三つめはフォローが早いところです。その三つをぼくたちも学んで試合で活用できるようにしたいです。6年生と初めて練習した時はとてもきんちょうして声が出せなかったのですが、練習を重ねていくことで自分から声が出せるようになりました。6年生と試合をすることによって、ぼくたちとはちがう工夫されたプレーを学ぶことができました。これからもがんばってください。

### 「6年生のように」

5年生 菅原 健人

ぼくは、6年生のファイナルカップに出場して、良い経験ができたと思いました。6年生はスピードも強さもあって、とても自分はみんなについて行けなかったけど、ウイングとしてがんばりました。5年生でやってきたことがうまくできたとし、6年生との練習でも色々なことを知る事が出来ました。

自分達が6年生になったら、またファイナルカップがあり、そこで今まで経験したことや、これから学ぶことを生かして行きたいです。ぼくは6年生になったら、元6年生みたいな力強いプレーができるように、全力で練習にはげむつもりでいます。

### 「卒業する6年生へ」

5年生 寺田 大起

卒業おめでとうございます。

ぼくは、6年生がどんな強い敵にも、低いタックルをすることを尊敬していました。

ファイナルカップは、見たこともないすごい迫力ある試合でびっくりしました。

ぼくも来年は、今の6年生のように、どんなに強い敵にも低いタックルをして、迫力ある試合、良い結果がでる試合をしたいです。

### 「6年生に感謝」

5年生 中司 大也

6年生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。

今まで、麻生ラグビースクールを引っ張ってくれて、ありがとうございました。

6年生には、夏合宿やいつもの練習、そしてファイナルカップを一緒に取り組んできました。夏合宿の班は山本凌介さんがリーダーでした。凌介さんは班のみんなを笑わせてくれたり、みんなをしっかりまとめてくれたので、すごいと思いました。

合宿最終日、6年生との試合は完封されてしまいました。そんな強い6年生をめざすことを忘れずに、これからも練習に取り組んでいきたいと思います。

ファイナルカップ当日、きんちょうしていたぼく達に、6年生が、気合いを入れてくれました。その時の6年生は、さらにカッコ良かったです。

中学校に行っても、ラグビーをつづける人、他の部活に入る人もいると思いますが、みなさんががんばってください。

みなさんが、卒業した後は、ぼく達が麻生をひっぱっていけるよう、がんばります！！

今までありがとうございました。

### 「六年生のみなさんへ」

5年生 西野 響太

ぼくは、六年生のみなさんにタックルのコツやハンズアップのコツを教えてもらったので、ぼくが六年生になったら低学年に優しく教えてあげたいです。

ダックスに入ってもチームプレーと優しさと忘れないでラグビーを楽しんで下さい。

### 「6年生の皆さんへ」

5年生 野川 真

6年生の皆さん、1年間スクールを引っ張って頂きありがとうございました。

僕達5年生は、6年生のプレーに刺激され、沢山の練習に励んできました。お手本にしてきた6年生が卒業してしまうのは、とても不安ですが、これからは、僕達が最上級生として、スクールを引っ張っていける様に、精一杯頑張りたいと思います。中学生になっても、スポーツに勉強に頑張ってください。

「6年生へ」

5年生 萩原 睦

6年生は、テクニック、スピード、力のすべてで5年生をリードしてくれて、楽しかったです。6年生は、バランスも良くてすごく良かったです。ありがとうございました。

「6年生へ」

5年生 濱田 透唯

6年生とは何度も練習試合をさせてもらいました。夏合宿最後の6年生との試合、「今年は絶対勝つぞ！」と言う気持ちでグラウンドに立つのですが負けてしまいました。今年1月～2月の練習では6年生が4人しか入っていないのに毎日負けて泣きたい位悔しかったです。やはり6年生は強い！と思いました。ぼくたちもそんな強い6年生になれるかわからないけれどずっと6年生を追っかけてきたので頑張りたいと思います。6年生のみなさん、中学生になっても強い気持ちを持って頑張ってください。

「6年生の皆様へ」

5年生 真山 巧也

6年生の皆様、今までお疲れ様でした。最後のファイナルカップでしたね。6年生は人数が少ないけれど、チームプレーがよくつながっていて、すごいなあとと思いました。それにタックルが激しくて、スピードも速くて相手をあっとうして、試合を見ていて目で追うのがやっとなかったです。ぼくも6年生のみんなのように強くなりたいです。

「6年生との思い出」

5年生 宮澤 朋輝

6年生卒業おめでとうございます。

6年生と一緒にファイナルカップの練習している時、当たりもドーンといって、タックルもきちんとしていたのですごいなと思いました。

ファイナルカップではあまりかてなかったけど、「全力を出す」の目標はみんなできたのでよかったです。中学生になっても高校生になってもラグビーをつづけてください。

「6年生へ」

5年生 横島 拓朗

練習や合宿で相手になってくれて、ありがとうございました。試合ではいつも仲間同士で声をかけあって素晴らしいと思いました。そのほかにも、タックルの強さや下の学年を引っ張るところはかっこよかったです。すごいと思いました。ずっと練習などにつきあってくれてありがとうございました。これからはそれらを目標に、見習って、声を出して、しっかり下の学年をまとめていきたいです。卒業おめでとうございます。

1/8 藤沢 交流戦

・幼稚園・年中

麻生 ○60-30● 藤沢

・幼稚園・年長

麻生 ●30-40○ 藤沢

麻生 ○15-05●

・1年生

麻生 A ●20-40○ 藤沢

麻生 B ●30-35○ 藤沢

麻生 C ○40-25● 藤沢

・2年生

麻生 A ○40-10● 藤沢

麻生 B △30-30△ 藤沢

麻生 C ●35-50○ 藤沢

・3年生

麻生 A ●0-20○ 藤沢

麻生 B ○25-0● 藤沢

麻生 C ○35-0○ 藤沢

麻生 ABC ●10-15○ 藤

沢

・4年生

麻生 ○25- 0● 藤沢 C

麻生 ○10-05○ 藤沢 B

麻生 ○20-10● 藤沢 A

麻生 ● 0-30○ 藤沢

ABC

・5年生

麻生 A ○15-05● 藤沢

麻生 B ●10-15○ 藤沢

・6年生

麻生 ●0-35○ 藤沢 A

麻生 ●0-40○ 藤沢 B

1/29 多摩 交流戦

・幼稚園

麻生 ●15-45○ 多摩

麻生 ○25-20● 多摩

・幼稚園・年長

麻生 ○20-10● 多摩幼稚園

麻生 ●15-35○ 多摩1年生

麻生 ○45-20● 多摩幼稚園

・1年生

麻生 ● 0-80○ 多摩2年生

麻生 ●15-50○ 多摩2年生

麻生 ● 0-85○ 多摩2年生

麻生 ●20-35○ 多摩1年生

麻生 ○35- 5● 多摩1年生

・2年生

麻生 ●0-75○ 多摩3年生

麻生 ●0-75○ 多摩3年生

麻生 ●0-50○ 多摩3年生

・3年生

麻生 A ● 0-55○ 多摩4年生主体

麻生 B ●10-45○ 多摩4年生主体

麻生 C ●10-50○ 多摩4年生主体

・4年生

麻生 ○25-10● 多摩高学年 C

麻生 ○20-15● 多摩高学年 C

・5年生

麻生 ●05-65○ 多摩高学年 B

・6年生 ファイナルカップ対応

麻生 ○55-15● 多摩高学年 A

麻生 ○65- 0● 麻生5年生

[コーチ対抗戦]

麻生 ○7-5● 多摩

3/4 田園「設立 20 周年記念交流大会」

同日 グリーン交流戦

■グリーン RS 交流大会

・幼稚園:年中年少

麻生 ●10-55○ グリーン

麻生 ●10-40○ グリーン

・幼稚園:年長

麻生 ○30-5● グリーン

麻生 ○50-0● グリーン

・1 年生

麻生 B ●15-25○ グリーン

麻生 A ○40-15● グリーン

・2 年生

麻生 ●5-65○ グリーン

■田園 RS 20 周年記念試合

・3 年生

麻生 B ○50- 5● 田園 B

麻生 C △15-15△ 相模湖 B

麻生 A ○25-10● 田園 D

・4 年生

麻生 ●0-15○ 田園 A

・5 年生

麻生 B ● 0-30○ 相模原 B

麻生 A ●10-45○ 田園 C

・6 年生

麻生 ○35-5● 田園 A



## 編集後記

(卒業おめでとう！今年も中学3年生と小学6年生を無事送り出せて何よりです。それぞれの文章の中に、ラグビー生活の楽しさ、苦しかったこと、それを乗り越えた充実感、そして本人の成長が良く表れていると思います。また、親の文章は感動的なものがたくさん入っていて涙が出てきます。

卒業生はこれからの長い人生を今までの経験を生かしさらに前進してください。将来の日本をたくましく引っ張って行ってください。(編集長 毛利)

(ラグビースクールを卒業するにあたっての思いや感動が伝わってきます。(DAGS 小松))

(6年生修了おめでとう！！グラウンドの中だけではなくリトルラグーマンの中でも、みんなの成長が見て取れて、毎回とても楽しかったです。中学生になって益々の活躍を楽しみにしています。有り難う！

(6年 木下))

(6年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。私自身も当時のことを思い出しました。長いようで短い中学校生活の始まりです。思い切りエンジョイしてください。(5年 宇田))

(卒業おめでとうございます。皆さんがラグビーと共に成長したことが伝わってきます。麻生RSを卒業したことを誇りに、4月から新しいスタートを切ってください。(2年 野田))

---

麻生リトルラグーマン NO. 91

発行日／平成24年3月20日

発行者／三浦 幸宏(042-331-6548)

編集長／毛利昌康(044-987-9063):E-メールアドレス [masayasu@delight-net.com](mailto:masayasu@delight-net.com)

副編集長／野田卓人

編集委員／小松正巳・木下義之・宇田洸希・上田博朗・亀田直幹・井上正敏・津国秀一・河合淳一

表紙題字:元全日本監督 日比野弘氏 ホームページ <http://asaors.com/>